

この機会に、電話ではなく、手紙の交換をしましょう

コロナ禍環境の夏の生活＝みなさまの御協力をお願いします

園長 山下勝弘

コロナ禍環境で過ごす生活も2年目を迎えました。昨年の7月にお届けした学園ニュースでは、コロナ禍の中で、「生活の新しい豊かさを育てるチャンスにしましょう」と提案をさせていただきました。1年が経過した現在、みなさまの生活はいかがでしょうか？。

学園生活の現実には、児童も職員も、依然としてコロナ感染予防に細心の注意を払いながら毎日を過ごしています。昨年との違いは、まだ全員ではありませんがワクチン接種を受けた職員と児童が多くなってきたことです。日常生活は、昨年とほとんどかわりありません。学園での面会、児童との外出や帰宅、帰宅期間、帰宅中の生活などは、昨年の夏と変わらない細かなお願いを継続することになります。むしろオリンピックの開催もあって、昨年以上に、感染予防に必要な配慮をする日常になることが確実です。

昨年はコロナ禍環境の中で、生活を育て豊かにする具体的な働きとして、家族のみなさまに、学園で生活をしているご自分のお子様と、この機会に文通をしていただく提案をしました。手紙を交換することによって、新しい生活の豊かさが生まれる機会を創りたいという願いからの提供でした。

新型コロナ禍で過ごす2年目の夏の生活でも、同じお願いをします。電話とは異なった家族の交流によって、新しい豊かな家



HAPPY BIRTHDAY



6月に誕生会を行ないました。4名が誕生日を迎えました。
みんなプレゼントを貰って驚いたり、笑ったりといい表情をしていますね。
お誕生日おめでとうございます！

学卒活動

美味しい～



作業では、似顔絵や紙粘土制作、点描画、裁縫を行ないました。1人1人個性溢れる素晴らしい作品が出来上がりました。

6、7月は昼食調理を行ないました。懇親会・反省会を行ない、1学期の反省を1人ずつ発表してもらい、その後職員からの良かったところや頑張してほしいことを伝えました。会食は、ピザやパスタ、サラダ、スープ、果物を

苦情解決委員会

子どもたちの生活や環境、職員の対応などについての苦情を受け付け、解決に取り組みます。お気軽にご相談ください。

また、牧人会の苦情解決第三者委員会も設置されています。苦情受付箱「みんなのこえ」への投書や受付窓口などに直接相談するほか、第三者委員に相談することもできます。

